

東北情報通信懇談会 資金援助事業実施概要報告書

支援: 様式4

事業の名称	仙台県談会 「日本の未来は仙台からー先端技術と文化による都市モデルづくり」		
開催日	令和4年2月5日	開催場所	公益財団法人仙台応用情報学研究振興財団1階ホール
会場来場者人数	オンライン参加者 350人	実施結果に対する感想・反省等	世界的な文化都市としての「仙台」の実現に向けて、仙台市、大学、企業等が適応するための取り組みをそれぞれの分野で活躍されている3人の演者から解説して頂いた。
主催団体等	<p>主催: 公益財団法人仙台応用情報学研究振興財団 東北大学研究推進・支援機構 知の創出センター 東北情報通信懇談会</p> <p>共催: 一般社団法人インターネット協会OIC 一般社団法人東北IT産業推進機構 仙台市</p> <p>後援: 一般社団法人ミュージックプロデューズMHKS 東日本電信電話株式会社宮城事業部</p>		<p>仙台市へ本社を誘致する施策等、注力すべき内容もあり、実感ができ好評であった。</p> <p>登壇者に仙台市長を招いていることもあり、エルパーク仙台にて仙台市民に視聴していただく事としていたが、コロナ禍にあつて自宅での視聴のみとなった。</p> <p>また、九州や関西などからも参加していただき、約350人程の参加状況であった。</p> <p>今後も、このようなイベントを通して産学官が共通の課題解決に向けて連携して取り込む「交流の場」となるようにしていきたい。</p>
実施行事概要	<p>オンライン仙台県談会: 「日本の未来は仙台からー先端技術と文化による都市モデルづくり」</p> <p>鼎談者: 郡 和子 (仙台市長) 藤原 洋 (ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長CEO) 青木 孝文 (東北大学理事・副学長)</p> <p>コーディネーター: 野口 正一 (仙台応用情報学研究振興財団 理事長)</p>		<p>クラシックピアノ演奏会についても、芸術とテクノロジー双方の交流の輪が広がり、非常に有意義であるとの声が多く寄せられた。</p>

